

## 輸出額・輸入額ともに前年より増加 ～ 平成22年 福岡市の外国貿易 ～

平成22年外国貿易年表が、門司税関から5月に公表されましたので、博多港（博多税関支署）と福岡空港（福岡空港税関支署）における貿易の概要を紹介します。【注】

### 1. 概況

#### 輸出額・輸入額ともに増加

平成22年の両港における輸出額は、2兆416億円（対前年増加率19.9%）となり、大幅減となった昨年から増加に転じています。

港別に見ると、博多港は1兆4,347億円（同22.7%）、福岡空港は6,069億円（同

13.9%）と両港ともに増加していますが、特に博多港の増加が目立っています。

両港における輸入額は、1兆678億円（同9.2%）となり、3年ぶりに増加に転じています。

港別に見ると、博多港は7,192億円（同5.0%）で、福岡空港は3,486億円（同19.0%）となりました。

なお、貿易収支は9,738億円の輸出超過となりました。（図1，表1）

図1 貿易額の推移

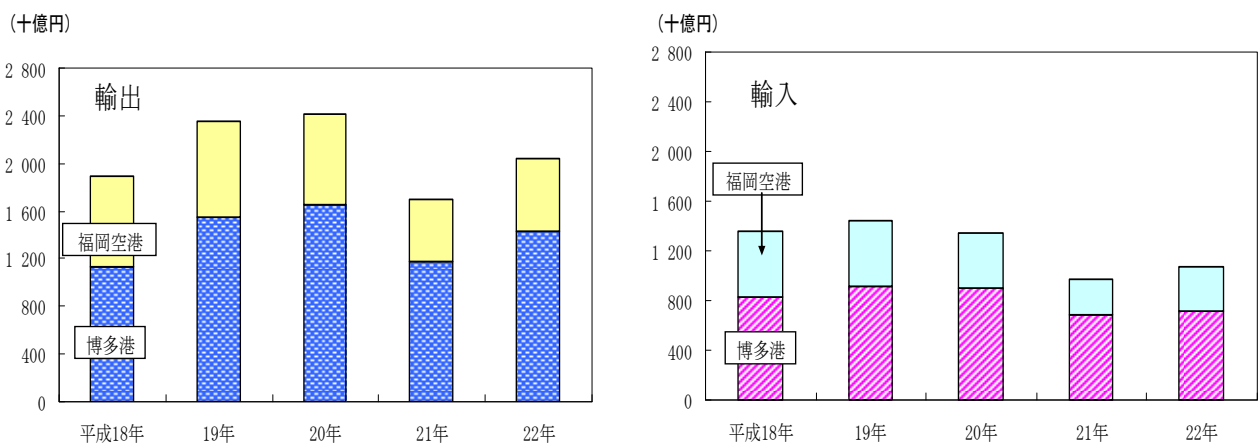


表1 貿易額の推移

(単位：百万円，%)

年	両税関支署計				博多港（博多税関支署）				福岡空港（福岡空港税関支署）			
	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率	輸出額	対前年増加率	輸入額	対前年増加率
平成18年	1 886 592	11.5	1 362 290	28.4	1 130 981	22.5	823 262	23.0	755 610	△ 1.8	539 028	37.6
19年	2 347 763	24.4	1 438 995	5.6	1 548 568	36.9	919 269	11.7	799 195	5.8	519 726	△ 3.6
20年	2 411 680	2.7	1 346 074	△ 6.5	1 660 071	7.2	895 048	△ 2.6	751 609	△ 6.0	451 026	△ 13.2
21年	1 702 149	△ 29.4	977 679	△ 27.4	1 169 495	△ 29.6	684 772	△ 23.5	532 654	△ 29.1	292 907	△ 35.1
22年	2 041 598	19.9	1 067 776	9.2	1 434 674	22.7	719 154	5.0	606 924	13.9	348 622	19.0

【注】 文中、表中及び図中の「博多港」とは博多税関支署において、「福岡空港」とは福岡空港税関支署において、それぞれ通関手続きが行われた輸出申告書及び輸入申告書に基づいた数値を表しています。なお、通関手続きが行われた税関と積出港とは必ずしも一致しません。

## 2. 輸出

### 自動車輸出もちなおし増加

輸出品別に輸出額を見ると、最も多いのは機械類及び輸送用機器類が1兆1,951億円で輸出総額の58.5%を占めており、うち半導体等電子部品と自動車で6,356億円と5割以上を占めています。(表2、図2)

博多港では、自動車が中国への輸出が47.8%増となったことなどから、対前年増加率63.8%の2,870億円(構成比20.0%)で昨年に引き続き構成比第1位

となっています。第2位はゴムタイヤ及びチューブで1,731億円(同12.1%)、第3位は半導体等電子部品で1,440億円(同10.0%)でした。

福岡空港では、半導体等電子部品が2,046億円(同33.7%)で昨年に引き続き第1位です。ついで、金(マネタリーゴールドを除く)が昨年より40.9%伸びて743億円(同12.2%)で第2位となっており、つづく第3位の再輸出品の624億円(同10.3%)と合わせ、特殊取扱品が全体の約2割を占めています。(表3)

表2 輸出品別輸出額

(単位: 百万円, %)

品名	両税関支署計			
	平成22年			平成21年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	2 041 598	100.0	19.9	1 702 149
食料品及び動物	19 633	1.0	6.1	18 501
飲料及びたばこ	681	0.0	△ 10.3	760
食料に適さない原材料	21 763	1.1	30.9	16 626
鉱物性燃料	68	0.0	△ 66.6	203
動植物性油脂	85	0.0	66.2	51
化学製品	217 155	10.6	31.7	164 946
原料別製品	241 221	11.8	20.0	200 998
うちゴムタイヤ及びチューブ	173 308	8.5	16.2	149 132
機械類及び輸送用機器類	1 195 098	58.5	22.0	979 503
うち半導体等電子部品	348 559	17.1	△ 4.0	363 021
うち自動車	287 027	14.1	63.8	175 198
雑製品	120 011	5.9	12.3	106 907
特殊取扱品	225 882	11.1	5.7	213 655
うち再輸出品	144 476	7.1	△ 9.3	159 263
うち金(マネタリーゴールドを除く)	81 407	4.0	49.7	54 389

図2 輸出品目別構成比  
(両税関支署計)

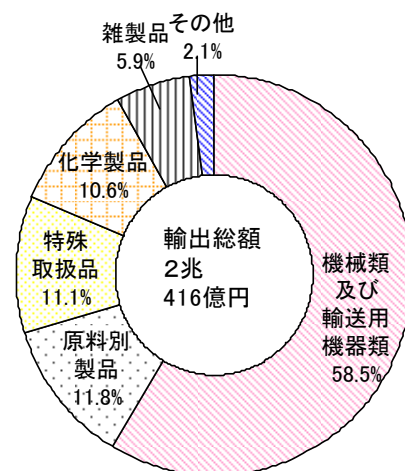


表3 輸出品別輸出額(税関支署別)

(単位: 百万円, %)

品名	博多港(博多税関支署)				福岡空港(福岡空港税関支署)			
	平成22年			平成21年	平成22年			平成21年
	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額	輸出額	構成比	対前年増加率	輸出額
総額	1 434 674	100.0	22.7	1 169 495	606 924	100.0	13.9	532 654
食料品及び動物	13 896	1.0	6.8	13 010	5 736	0.9	4.5	5 490
飲料及びたばこ	605	0.0	△ 8.5	661	76	0.0	△ 22.7	98
食料に適さない原材料	21 130	1.5	28.7	16 421	633	0.1	208.6	205
鉱物性燃料	44	0.0	△ 77.8	196	24	0.0	232.2	7
動植物性油脂	71	0.0	66.8	42	15	0.0	63.5	9
化学製品	145 808	10.2	38.6	105 167	71 346	11.8	19.3	59 779
原料別製品	224 122	15.6	18.7	188 847	17 099	2.8	40.7	12 151
うちゴムタイヤ及びチューブ	173 088	12.1	16.6	148 395	220	0.0	△ 70.2	738
機械類及び輸送用機器類	846 514	59.0	29.6	653 240	348 585	57.4	6.8	326 263
うち半導体等電子部品	144 006	10.0	△ 9.4	159 017	204 552	33.7	0.3	204 004
うち自動車	287 025	20.0	63.8	175 198	2	0.0	—	—
雑製品	93 243	6.5	6.2	87 775	26 768	4.4	39.9	19 132
特殊取扱品	89 241	6.2	△ 14.3	104 135	136 641	22.5	24.8	109 520
うち再輸出品	82 105	5.7	△ 19.9	102 457	62 371	10.3	9.8	56 806
うち金(マネタリーゴールドを除く)	7 137	0.5	325.7	1 676	74 270	12.2	40.9	52 713

### 3. 輸入

#### 両港とも増加に転じる

輸入品別に輸入額を見ると、輸出と同様に機械類及び輸送用機器類が4,085億円（構成比38.3%）で最も多く、次いで食料品及び動物が2,019億円（同18.9%）で第2位となっています。（表4、図3）

博多港では、昨年に引き続き魚介類（生鮮・冷凍）が8.5%増の568億円（同7.9%）と最も多く、第2位は55.7%増加した事務用機器387億円（同5.4%）で、ほぼ中国からの輸入となっています。韓国から

の輸入が80%近く減少した半導体等電子部品が、昨年より76.2%減少の116億円（同1.6%）と大幅に落ち込んでいますが、全体では5.0%増加し、3年ぶりに増加に転じました。

福岡空港では、昨年に引き続き半導体等電子部品が28.6%増の1,315億円（同37.7%）で第1位となりました。他にも香港からの輸入が20倍近く伸びた魚介類（生鮮・冷凍）などの増加により、全体として19.0%増と4年ぶりに増加となりました。（表5）

表4 輸入品別輸入額

（単位：百万円，%）

品名	両税関支署計			
	平成22年			平成21年
	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額
総額	1 067 776	100.0	9.2	977 679
食料品及び動物	201 940	18.9	8.5	186 035
うち魚介類（生鮮・冷凍）	69 184	6.5	22.2	56 598
飲料及びたばこ	3 388	0.3	10.9	3 055
食料に適さない原材料	64 415	6.0	27.7	50 429
鉱物性燃料	19 680	1.8	10.1	17 868
動植物性油脂	893	0.1	11.5	801
化学製品	60 778	5.7	5.2	57 789
原料別製品	100 641	9.4	10.4	91 161
機械類及び輸送用機器類	408 537	38.3	9.6	372 791
うち事務用機器	42 140	3.9	49.3	28 226
うち半導体等電子部品	143 117	13.4	△ 5.3	151 107
雑製品	154 915	14.5	△ 2.5	158 884
うち家具	33 459	3.1	7.0	31 257
うち科学光学機器	37 437	3.5	△ 15.9	44 535
特殊取扱品	52 589	4.9	35.3	38 865
うち再輸入品	46 652	4.4	28.5	36 311

図3 輸入品目別構成比  
（両税関支署計）

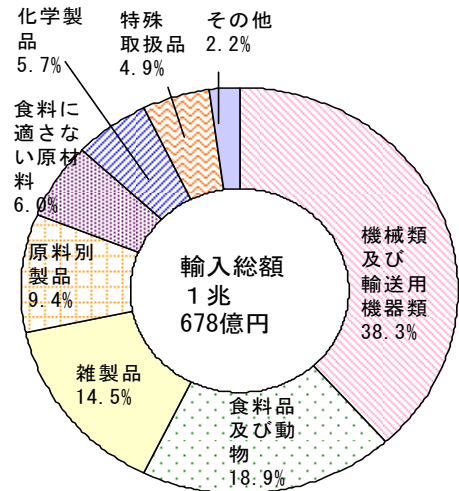


表5 輸入品別輸入額（税関支署別）

（単位：百万円，%）

品名	博多港（博多税関支署）				福岡空港（福岡空港税関支署）			
	平成22年			平成21年	平成22年			平成21年
	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額	輸入額	構成比	対前年増加率	輸入額
総額	719 154	100.0	5.0	684 772	348 622	100.0	19.0	292 907
食料品及び動物	188 352	26.2	4.2	180 747	13 588	3.9	156.9	5 288
うち魚介類（生鮮・冷凍）	56 799	7.9	8.5	52 330	12 386	3.6	190.1	4 269
飲料及びたばこ	3 319	0.5	13.6	2 922	69	0.0	△ 48.1	133
食料に適さない原材料	59 538	8.3	27.6	46 672	4 877	1.4	29.8	3 758
鉱物性燃料	19 664	2.7	10.1	17 853	16	0.0	3.9	15
動植物性油脂	892	0.1	12.1	796	0	0.0	△ 90.3	5
化学製品	51 099	7.1	9.0	46 864	9 679	2.8	△ 11.4	10 926
原料別製品	88 922	12.4	5.8	84 087	11 718	3.4	65.6	7 074
機械類及び輸送用機器類	190 251	26.5	△ 2.5	195 206	218 286	62.6	22.9	177 585
うち事務用機器	38 717	5.4	55.7	24 864	3 423	1.0	1.8	3 362
うち半導体等電子部品	11 646	1.6	△ 76.2	48 836	131 471	37.7	28.6	102 272
雑製品	108 785	15.1	4.1	104 529	46 131	13.2	△ 15.1	54 354
うち家具	32 979	4.6	6.1	31 086	479	0.1	179.2	172
うち科学光学機器	7 290	1.0	11.5	6 536	30 146	8.6	△ 20.7	38 000
特殊取扱品	8 332	1.2	63.5	5 096	44 257	12.7	31.1	33 769
うち再輸入品	8 314	1.2	63.5	5 084	38 338	11.0	22.8	31 227

#### 4. 貿易の相手国

##### 輸出入とも3割が中国

相手国別に輸出入額を見ると、輸出額では、自動車の輸出が昨年より約1.5倍となった中国が、21.2%増加の6,253億円（構成比30.6%）で第1位となっています。中国以外の主要相手国は、第2位が半導体等製造装置の増などにより20.2%増加の3,294億円（同16.1%）で韓国、第3位が17.8%増の1,728億円（同8.5%）でアメリカなどと、いずれも増加しています。

輸入額は、音響・映像機器（含部品）が約2.7倍となったことなどから、輸出

同様中国が1位で、16.2%増加の3,408億円（同31.9%）となっています。第2位は1.9%増の1,352億円（同12.7%）で韓国、第3位は11.0%減の980億円（同9.2%）でアメリカです。（表6、表7）

近年の推移を見ますと、平成19年に輸出額が90.7%と大幅に増加した中国が、それ以降、輸出入額ともに全体の約3割を占めています。また、輸出超過額についても、ここ4年間、約3割以上が中国となっています。

【資料提供】

門司税関調査部調査統計課

<http://www.customs.go.jp/moji/>

図4 主要相手国の貿易額の推移（両税関支署計）

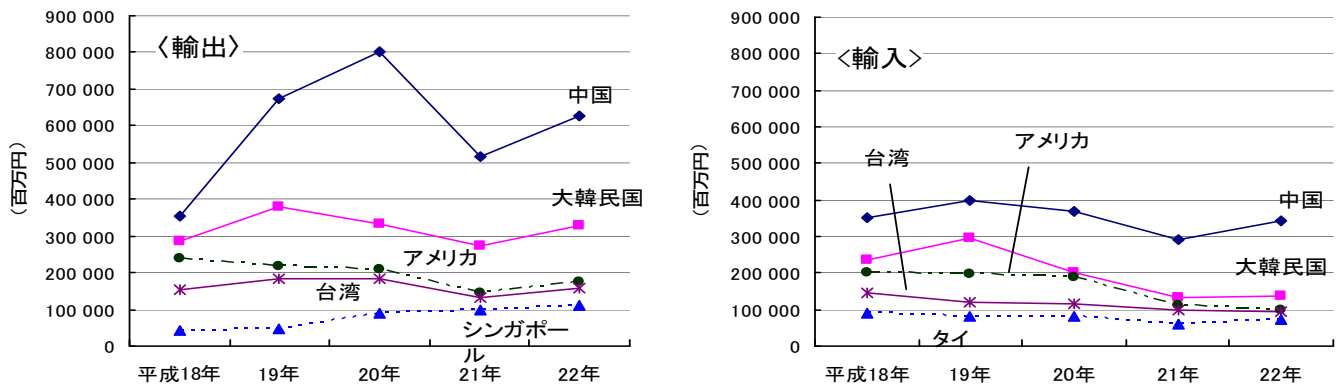


表6 輸出国別輸出額の推移（両税関支署計）

（単位：百万円，%）

国・地域	22年	構成比	対前年増加率	21年	20年	19年	平成18年
中華人民共和国	625 328	30.6	21.2	516 088	802 891	675 931	354 431
大韓民国	329 352	16.1	20.2	274 027	334 560	378 511	284 585
アメリカ合衆国	172 797	8.5	17.8	146 709	211 118	216 014	239 474
台湾	159 433	7.8	18.9	134 080	182 605	184 928	154 861
シンガポール	112 148	5.5	15.9	96 723	89 787	44 993	40 973
その他	642 539	31.5	20.2	534 522	790 719	847 386	812 268

表7 輸入国別輸入額の推移（両税関支署計）

（単位：百万円，%）

国・地域	22年	構成比	対前年増加率	21年	20年	19年	平成18年
中華人民共和国	340 836	31.9	16.2	293 217	366 784	400 267	351 208
大韓民国	135 173	12.7	1.9	132 616	201 379	295 222	236 409
アメリカ合衆国	98 009	9.2	△ 11.0	110 130	186 602	196 561	202 379
台湾	94 709	8.9	△ 2.6	97 249	113 870	118 309	146 418
タイ	73 154	6.9	18.4	61 763	79 784	83 242	88 181
その他	325 894	30.5	15.3	282 703	397 655	345 395	337 697